

「勝間田区 絆づくり事業」の活動報告です

「勝間田区 絆づくり事業」とは、主に勝間田の若者による、いろいろと楽しい事を企画、実行して、勝間田内外に新たな絆をつくり出す事を目的とした、勝間田区公認の組織です

1・「ゆうゆうらんど」の改修、改善についての都市計画課との話し合い



「ゆうゆうらんど」は現在、公園内の設備や遊具の老朽化が進み、安心、安全面に懸念が生じています。そのため、牧之原市役所の都市計画課にて、今後の改修、改善計画を進めていただいております。その際に利用者側の意見も反映していただけるよう、「勝間田区 絆づくり事業」の本年度の総責任者である、泉地進吾（間下）を中心に、都市計画課との話し合いを何度も重ねています。

また、「ゆうゆうらんど」の安全点検ワークショップを行った後、小学校や保育園を中心にアンケートを実施し、その結果を元に話し合いを行っています。特に、今後の改修や改善が、単なる不具合の解消に留まらず、「ゆうゆうらんど」が勝間田の次世代にも有益な公園となって欲しい、という点を大事にしています。この話し合いはまだ途中ですが、結果がまとまりましたら、改めて報告いたします。

2・「ねぶたの技法の灯かり」の製作体験イベントについて

9月10日（土）に勝間田会館にて、このイベントを行いました。講師は、星崎雪乃さんという方で、青森でねぶた製作の修行をされた後、茨城で和紙の創作灯籠の職人をされている方です。また、参加者数は合計で30名でした。

参加者の皆さんは、ねぶたの技法を学びつつ、富士山型の灯かりを思い思いに作成し、楽しい時間を過ごされたようでした。また、製作体験と並行して、「ねぶた×ゆうゆうらんどの可能性」という対話ワークショップを行い、今後の「ねぶたの技法の灯かり」の、勝間田での活用方法等を自由に話し合いました。

なお星崎雪乃さんは、5年前の東北大震災の際に、つくば市から勝間田へ避難されて、2週間ほど勝間田に滞在されたという縁のある方です。今回、そのご縁を大事にして下さったおかげで、このイベントが実施できました。また余談ですが、星崎雪乃さんは、その後に白山神社の屋台部の会合にも顔を出してくださいました。その後いろいろありまして、今年の白山神社の祭典で引き回す屋台上部には、「ねぶた」を製作して載せるということになりました。このことがまた、何か新たな絆になって、誰かと誰かを結び付けてくれたらいいですね。



以上、報告させていただきます。勝間田区の絆づくり事業では勝間田内外の新たな様々な「絆づくり」のために、今後もまたいろいろな取り組みを行っていく予定です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※この回覧文書は、勝間田区絆づくり事業のメンバーの1人、武田道哉（間上）が作製しました。この回覧への質問やお問い合わせ、また絆づくり事業への参加（大歓迎です！）のお申し込みは、下記の宛先をお願いします

TEL 090-9912-8727（武田） Email kizunazukuri.katsumata@gmail.com